

# 各種時間単位における降水量・気温の時系列特性 ～日本列島の場合～

令和2年3月 市村 慎志

## 要旨

### 目的

地球温暖化は降水量・気温時系列に影響を及ぼす主たる要因と言われている。そこで本稿では、日本列島の165箇所の気象観測所を対象として、種々の降水量の時系列特性、種々の気温の時系列特性を把握した。降水量としては年合計、年最大（10分間、1時間、日）を採用した。気温としては、年平均（日平均、日最高、日最低）、年最高、年最低を用いた。又、本稿で使用したデータは、各地点において年別データ数が31年分以上ある大標本のみである。

### 方法

時刻（年）を独立変数、各種降水量（mm）を従属変数として散布図にしてみると、「線形回帰直線」に従うことが見て取ることができた。次いで、時刻（年）を独立変数、各種気温（℃）を従属関数として散布図にしてみると、「線形回帰直線」に従うことが見て取ることができた。そして、その増減を考察した。

### 結論

まず、降水量時系列を見ると、その変化に地球温暖化が大きく関わっていることが理解できた。次に、気温の時系列特性を見ると、ほとんどの地点で最低気温が他の気温データに比べて上昇の幅が大きいことが判明した。今後は、本稿で分析しなかった回帰係数の有意検定について検討したい。

指導教員 寒川 典昭 准教授